

 西南学院大学

経済学研究科履修モデル

SEINAN
GAKUIN UNIVERSITY

【1】博士前期課程

専門性の高い研究能力修得のために演習と専修講義科目が必修で、研究方法の近い科目の履修も重要です。

2年目の修士論文作成までに、幅広い視点を養う科目の履修も勧められます。それらを順に、基礎科目、拡張科目、隣接科目と区分して、専修科目別にいくつかの履修コースの例を掲げておきます。

もちろん、これら以外にも研究目的によって異なるバリエーションがあります。実際の履修は指導教員と協議して決めます。

ミクロ経済学を専修科目にする場合

	学期	基礎科目		拡張科目	隣接科目
1年目	前期	経済学演習	ミクロ経済学Ⅰ	応用ミクロ経済学Ⅰ	産業組織論Ⅰ
				経済地理学Ⅰ	
				マクロ経済学Ⅰ	
	後期		ミクロ経済学Ⅱ	応用ミクロ経済学Ⅱ	産業組織論Ⅱ
				経済地理学Ⅱ	
				マクロ経済学Ⅱ	
2年目	前期	経済学演習			計量経済学Ⅰ
	後期				計量経済学Ⅱ

マクロ経済学を専修科目にする場合

	学期	基礎科目		拡張科目	隣接科目
1年目	前期	経済学演習	マクロ経済学Ⅰ	応用マクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ
				財政学Ⅰ	
				金融論Ⅰ	
	後期		マクロ経済学Ⅱ	応用マクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅱ
			財政学Ⅱ		
			金融論Ⅱ		
2年目	前期	経済学演習			統計学Ⅰ
	後期				統計学Ⅱ

統計学を専修科目にするにする場合

	学期	基礎科目		拡張科目	隣接科目
1年目	前期	経済学演習	統計学Ⅰ	計量経済学Ⅰ	金融論Ⅰ
				ミクロ経済学Ⅰ	
				証券投資論Ⅰ	
	後期		統計学Ⅱ	計量経済学Ⅱ	金融論Ⅱ
				ミクロ経済学Ⅱ	
				証券投資論Ⅱ	
2年目	前期	経済学演習		比較経済制度論Ⅰ	
	後期			比較経済制度論Ⅱ	

経済政策を専修科目にする場合

	学期	基礎科目		拡張科目	隣接科目
1年目	前期	経済学演習	経済政策Ⅰ	労働経済学Ⅰ	財政学Ⅰ
				環境経済学Ⅰ	
				マクロ経済学Ⅰ	
	後期		経済政策Ⅱ	労働経済学Ⅱ	財政学Ⅱ
				環境経済学Ⅱ	
				マクロ経済学Ⅱ	
2年目	前期	経済学演習		社会保障論Ⅰ	
	後期			社会保障論Ⅱ	

日本経済史を専修科目にする場合

	学期	基礎科目		拡張科目	隣接科目
1年目	前期	経済学演習	日本経済史Ⅰ	西洋経済史Ⅰ	比較経済制度論Ⅰ
				経済思想史Ⅰ	
				世界経済論Ⅰ	
	後期		日本経済史Ⅱ	西洋経済史Ⅱ	比較経済制度論Ⅱ
				経済思想史Ⅱ	
				世界経済論Ⅱ	
2年目	前期	経済学演習			外国語資料分析
	後期				

世界経済論を専修科目にする場合

	学期	基礎科目		拡張科目	隣接科目
1年目	前期	経済学演習	世界経済論Ⅰ	アメリカ経済論Ⅰ	資源経済論Ⅰ
				東南アジア経済論Ⅰ	
				中国経済論Ⅰ	
	後期		世界経済論Ⅱ	アメリカ経済論Ⅱ	資源経済論Ⅱ
				東南アジア経済論Ⅱ	
				中国経済論Ⅱ	
2年目	前期	経済学演習			外国語資料分析
	後期				

国際経済学を専修科目にする場合

	学期	基礎科目		拡張科目	隣接科目
1年目	前期	経済学演習	国際経済学Ⅰ	国際金融論Ⅰ	資源経済論Ⅰ
				ミクロ経済学Ⅰ	
				マクロ経済学Ⅰ	
	後期		国際経済学Ⅱ	国際金融論Ⅱ	資源経済論Ⅱ
				ミクロ経済学Ⅱ	
				マクロ経済学Ⅱ	
2年目	前期	経済学演習		国際経済開発論Ⅰ	
	後期			国際経済開発論Ⅱ	

【2】博士後期課程

まず経済学に関するより高度な幅広い知識を修得するために、「経済学特別講義」を履修します。

博士後期課程では3年かけて、専門分野のなかで研究テーマを深く掘り下げて学位論文として大成することを目指しますので、指導教員による「経済学研究指導」を履修することになっています。

【2】博士後期課程

	前 期	後 期
1 年目	経済学特別講義 指導教員「経済学研究指導」	指導教員「経済学研究指導」 修士論文を発展させ第1論文投稿
2 年目	指導教員「経済学研究指導」	指導教員「経済学研究指導」 研究成果をまとめ第2論文投稿
3 年目	指導教員「経済学研究指導」 学位論文作成	指導教員「経済学研究指導」 学位論文提出、学位論文審査

 西南学院大学

<http://www.seinan-gu.ac.jp/>